

住職の写真日記より【11月】

※ホームページではカラーで見られます
報恩講では、3日間とも天候にも恵まれ、皆様のご協力により昨年を大きく上回る参詣をいただき心から感謝申し上げます。ご奉仕いただいた役員、婦人会、おとき当番、有志の方々には大変お疲れ様でした。おかげでいい報恩講になりました。また来年を楽しみに。



1日 樹木希林さん逝去

いい役者さんでした。晩年の樹木さんの言葉はどれも深いものがありましたね。



3日 報恩講準備

ボーイスカウトが、親鸞様へのメッセージボードを作ってくれました。



6日 報恩講の中日は満堂

近隣寺院からも大勢お参り下さいました。報恩講のお参り合いはとてもいいですね。



12日 90歳に
京極町光寿寺住職、母のお兄さんです。おそらく道内では現役住職としては最長老かもしれません。



12日 年に一度の里帰り
同じく光寿寺報恩講にて。母も83歳、あと何回実家の報恩講にお参りできるのかな~と。



13日 来年のカレンダー
再来年のカレンダーは、千正寺オリジナルカレンダーを作ろうかと計画中です。果たしてどうなるでしょう。



15日 Tシャツゲット
息子がお気に入りのラーメン屋のチケットをためて、もらいました。さて何というラーメン屋でしょうか。



21日 遅い初雪
昨年よりも一ヶ月も遅い初雪。他寺院報恩講での峠越えでも珍しく雪にあたることはありませんでした。

24日 BS常例法座初参り
この後、お泊まり会がお寺であり、常例法座に初めてお参りしました。とてもいい光景で、うれしくなりました。

坊守の独り言

先月の報恩講が終わった夜、息子がいつも通り帰宅しました。普段「ただいま」とドアを開ける息子が「報恩講お疲れ」とドアを開けました。例年、報恩講が終わると「ボーン」としている時間ですが、息子の言葉にパワーをもらった出来事でした。

息子は今まで部活が忙しく、報恩講の準備から当日、片付けに関わる一部始終を見ることがありませんでした。

部活引退後、大学受験に挑む中で自分の将来についてレポート作成など「お寺と自分」を意識したようです。

いつもご門徒のみなさんに「お育て」を頂き、お寺は家族だけでは運営できないこと、ご門徒のみなさんのお寺を支える姿に何かを感じたようです。「報恩講お疲れ」の短い一言に「また来年頑張るぞ！」と住職と前坊守とニコニコ顔になれた瞬間でした。